

あなたの資格 教えてください

第13回目 保育士（国家資格）

工藤 絵理さん（広島）



◆その資格について教えてください。

0歳～5歳までのお子さんをお預かりし、子どもたちの生活全般のお世話をしながら心と体の発達を促し、様々な体験や経験をする中で、社会生活を送る上で必要なルールや約束事を知らせ、小学校就学へと繋げていきます。食事や睡眠、排泄、衣類の着脱などの生活習慣が身につくよう、それぞれの年齢に合わせて援助をしています。また、子育て家庭の育児相談等の支援も重要な役割としています。一昔前までは「保育士」という呼び名が一般的でしたが、徐々に男性も資格を取得される方が増えていき、また児童福祉法が改正されたことにより、「保育士」という名称になりました。

◆その資格を取得しようとしたきっかけは何ですか？

「子どもが好き」という理由で保育士を志望しましたが、学生時代の保育実習を通して保育士の大変さも感じました。しかしそれ以上に子どもの成長を近くで感じることが出来ることの喜びもありました。私も保育士として子どもの成長に寄り添い、一緒に喜び合える存在になりたいと強く思い、保育士を目指しました。

◆その資格を持っていると、どんな職場で働けますか？

保育園（企業内保育所、院内保育所を含む）は、もちろんですが乳児院や児童養護施設等の児童福祉施設などがあります。また、保育士の資格の他に幼稚園教諭の免許を併せて取得されている方が多いので、その場合は幼稚園や認定こども園でも働くことが出来ます。

◆現在の勤務先、仕事内容を教えてください。

認定こども園柳田保育園で働いています。現在は、3・4歳児のクラスを担当しており、身の回りのお世話をしています。年齢によって違いはありますが、子どもには一人でできないことも多くあります。食事、排泄、着替えなど子供が必要としていることを援助しています。これらを通じて生活習慣を身につけられるよう関わっています。さらに、年齢が大きくなるにつれて集団生活のルールを覚えたり、仲間との接し方や遊び方などを知ったり、年齢に合わせた成長をサポートしています。

◆その資格を取得するのに、どれぐらいの期間、またはどのような試験がありますか？

保育士の資格を取得する方法は2つあって、①厚生労働省が指定する保育士養成校（短大、専門学校、4年生大学）を卒業する。②保育士の国家試験に合格するという方法です。私は短大を卒業したので2年かかりましたが、指定の科目と単位を修めて卒業する事により、試験を受験することなく保育士の資格が取得できました。②の保育士の国家試験は毎年行われています。受験資格が設けられていて、それを満たした場合だと半年程度で合格できる可能性があります。筆記試験は「保育原理や子どもの保健・食と栄養、保育実習理論」など9科目から160問、実技試験は「音楽表現に関する技術」「造形表現に関する技術」「言語表現に関する技術」のうち2分野選択し実施されます。2つの方法どちらもメリット、デメリットはありますが、自分に合った方法で資格取得ができるのではないかと思います。

◆他にどのような資格をお持ちですか？

幼稚園教諭二種を持っています。

◆今後やってみたいことはありますか？

園では食育の一環として子どもたちと一緒に畑づくりに取り組んでいます。野菜を育てる大変さや収穫の楽しさなど一緒に味わっています。収穫した野菜を給食の材料として使ったり、クッキングで子どもたちと一緒に調理したりしていますが、ここ数年決まった野菜しか育てておらず、マンネリ化してきているので、自分自身で家庭菜園などを通して知識を身につけて園での畑づくりに生かしていきたいと思っています。

◆やりがいを感じる時や、この資格を持ってよかったと思う瞬間、何か思い出のエピソードがあれば教えてください。

保育士をしていて一番嬉しい瞬間は、子どもの笑顔を見られた時です。泣き顔も怒った顔も全部が大切な姿ですが、やはり笑顔は特別です。「先生おはよう！」「先生大好き！」と子どもたちの可愛い笑顔で言われるだけで「保育士でよかった」と実感します。また、子どもたちは日々成長していてその成長を近くで感じられるのは、保育士の特権です。「食べられなかった食材を一口食べられた」「縄跳びが跳べるようになった」など数えきれないほどの成長を見せてくれます。そんな子供たちの成長を近くで見守り、時には成長を後押しできることは、保育士ならではのやりがいと言えます。

◆今後これから資格を取りたいと考えている方へお願いします。

昨今では「保育士不足」や都心では「待機児童」の問題も世間的に社会問題として認知され始めており、保育士が保育園で働くという事は今まで以上に「社会を助ける」という意味合いが強くなってきています。大変な仕事ではありますが、子どもたちの成長を間近で感じ、日々嬉しい発見も出来る仕事でもあります。「子どもが好きでお世話してみたい！」「やりがいのある仕事がしてみたい！」という方はぜひ資格取得に挑戦してみてください。

知ってる？深浦町資格取得支援制度のこと

◆深浦町資格取得支援事業費補助金

働いている方やこれから働こうとする求職者の就業環境の改善による地元定着を図るため、仕事や就職に役立つ資格や免許を取得した方に対し、取得経費の一部を補助します。HPに掲載されている対象資格のほかにも、国家資格や公的資格で該当になるものもありますので、総合戦略課までお問い合わせください。

あなたの資格・免許教えてください

「こんな資格持ってるよ！」「趣味で取得した資格だけいいのかな？」など、国家資格から面白い検定まで様々な資格や免許をお持ちの方や、ご意見・ご感想がありましたら、下記のアドレスまでお寄せください。

kouhou@town.fukaura.lg.jp

町政への提言レター



町では地域住民の声を反映させるため、町民がより自由な形で意見・要望などの提言を町政に対して行えるよう、『町政への提言レター事業』を実施します。

私が
お答えします！

◆町政への提言レターは、次の方法で行います。

町政への提言レター募集用紙を年2回広報紙に折り込み、全世帯に配布します。切手の貼付、郵便番号、あて先等の記載は必要ありません。差出有効期間内は随時受け付けします。

町政に対する意見・要望は町の振興に関する建設的なものとし、個人あるいは特定の団体に対する誹謗中傷はご遠慮ください。差出人に回答する際に必要となるため、住所・氏名の記入をお願いします。

提言レターが契機となり、町勢振興のための諸施策に反映されたご意見ご要望や、広く町民のみなさんにお知らせする必要があるものについては、その提言内容等を広報紙にてお知らせします。



深浦町長 吉田 満

岩崎中学校、4年連続で英検準2級以上の合格者輩出!!

令和3年度実用英語技能検定（英検）準2級に、岩崎中学校3年の猿田莉生（さるたりお）さんが合格しました。今回の英検受験にあたり、猿田さんは「普段、授業以外で英語を話すことはありませんでしたが、面接練習のために、家族にも手伝ってもらいながら英語を話す練習をしました。」と、語っていました。猿田さんは、先日行われた西北英語弁論大会（ビデオ審査）でも上位入賞を果たしており、英検で鍛えた英語力を学校外の活動でも発揮しています。

英検準2級は、高校2年生程度の英語運用力が必要とされています。岩崎中学校では4年連続で、英検準2級以上の合格者が出ています。猿田さんも、このような先輩たちの姿から良い刺激を受けて、今回の快挙を達成することが出来ました。

